

会 議 録				
平成27年度第6回 社会教育委員の会議	日 時	平成27年10月16日（金） 午前9時00分～11時00分	場 所	小金井市第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	原嶋議長、柴田副議長 古家、北村、石田、城、長坂、小山田、佐野、原田 各委員		
	その他	株式会社ぎょうせい 山本教育長、西田生涯学習部長		
	事務局	石原生涯学習課長、上石図書館長、前島公民館長 小堀生涯学習係長、伊東生涯学習係主事		
傍聴の可否		◎可 ・ 一部不可 ・ 不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 協議事項				
ア 正副議長の互選について				
イ 平成27年度の会議開催日について（確認）				
ウ 平成28年度の会議開催日について				
エ 小委員会日程の検討について				
オ 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任について				
カ 第3次小金井市生涯学習推進計画について				
キ その他				
2 報告事項				
ア 第3回市議会定例会について				
イ 第33期公民館運営審議会委員の委嘱について				
ウ 第13・14期小金井市図書館協議会への出向委員について				
エ その他				
<p>（石原生涯学習課長）</p> <p>それでは、定刻となりましたので、開会をさせていただきますと思います。</p>				

私は事務局である生涯学習課課長の石原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、まず辞令の交付式から始めさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

教育長が順番に委員さんのところを回らせていただきますので、恐れ入りますが、お立ち上がりできる方は立ってお受けいただければと思ひますので、よろしくお願ひします。

(教育長から各委員へ委嘱状交付)

(石原生涯学習課長)

それでは、委嘱が終了いたしましたので、一言、教育長のほうから御挨拶させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(山本教育長)

改めまして、おはようございます。

きょうは大変足元の悪い中、早朝からお集まりいただきまして、ありがとうございました。

皆様には、第28期社会教育委員の委嘱状をただいま交付させていただきました。今後2年間にわたる御審議をどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

私は、学校教育の出身なものですから、この立場になって生涯学習のことについてさまざまこの2年間にわたって携わってまいりまして、小金井市は非常に大きな課題が幾つもあることがよくわかりました。まず最も基本的なものは、今後第3次生涯学習推進計画を策定していかなければならない。図書館、公民館の長期的な展望も明確にする必要があります。また市民サービスの拡大と行財政改革という視点からNPOへの委託の拡大という重要な検討課題もあります。さらに目前の課題としては、福祉会館の建てかえに伴う公民館本館の機能の移転と市民活動の場の保障という緊急課題が今、求められております。施設がどんどん老朽化していく中で、今後10年、20年を見据えた長期的な展望が必要だと議会でも厳しく指摘されているところです。

私はこの夏、2日間ぐらい休みがとれましたので、旅行を兼ねて九州のほうに出かけて、武雄図書館と伊万里図書館、岡山県立図書館の3つを駆け足で見学してまいりました。新しい図書館をもし小金井市につくるならばどういうものがふさわしいのだということを今一生懸命考えておりますが、財政的なことを考えると恐らく10年あるいは20年先のことになるかと思ひます。ただし、小金井市のような文化、スポーツ、学校教育等々、非常に質の高い地域ですから、それにふさわしいものをつくらなければならない。これから非常に大きな課題ですので、皆さんの貴重な御意見も伺っていかなければならないと思ひます。

本市の社会教育施策については、皆様の建設的な御提言を賜りまして、それを十分

に尊重しながら、今後の教育委員会の検討資料とさせていただきたいと考えているところです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(石原生涯学習課長)

ありがとうございました。

それでは、議長の選任の前にそれぞれの委員さんの自己紹介をお願いしたいと思いますので、先ほど委嘱状を交付させていただいた順番で自己紹介を簡単をお願いいたします。

(石田委員)

国際ソロプチミスト東京ー小金井という奉仕団体から推薦されてきまして、2期目でございます。1期目の2年間はいろいろとわけがわからない分、でも、第3次の推進計画をやって、大変なことをしているなという自覚を改めてしております。

石田でございます。よろしくお願いいたします。

(小山田委員)

小山田佳代と申します。

私も2期目ございまして、市民公募の枠で入らせていただいております。ふだんはNPO法人東京学芸大学こども未来研究所というところで、子どもを中心に地域の教育力を高めていきたいという活動をしております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(北村委員)

こんにちは。北村景子と申します。

去年、小金井二小のPTA会長をさせていただいていまして、今回、P連のほうから出向という形で来ました。P連の会議は今後も出ていきますので、そちらのほうともうまく連携しながらやっていきたいと思っています。

お願いします。

(佐野委員)

おはようございます。佐野郁蔵と申します。

前は生涯学習支援センター構想というものに携わらせていただきました。私は、社会教育委員の中に調査・研究という部分がたしかあったと思います。行動する社会教育委員を目指して今期も活動をしていきたいと思っていますので、ひとつよろしくお願いいたします。

(柴田委員)

柴田と申します。よろしくお願いいたします。

私は、東京学芸大学に所属しております。学校と家庭と地域の連携についてを研究テーマとしまして、NPOと学校の連携や、コミュニティスクール、学校支援地域本部などといったところを調査させていただいております。

少しでもお役に立つよう努めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(城委員)

小金井市文化連盟の華道の城瑞枝と申します。よろしくお願いいたします。

ふだんは高等学校の授業で華道を教え、クラブ活動で中学生や高校生を教え、社会人の会社のほうでもお花を教えておりますので、いろいろと勉強させていただければいいかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(長坂委員)

長坂と申します。

私は、現在、松蔭大学の副学長として、大学院の授業を持っております。専門は経営学でございます。生涯学習との出会いは、ちょうど40年前です。日本で最初に生涯学習に関する財団法人を当時の文部省の認可を得てつくった1人でございます。その財団を兼務しながら20年ほど見ていました。そういうことが生涯教育との出会いで、多分一番のはしりだと思います。ということで、それ以来いろいろ関連しておりますが、今は厚木に大学があるということで、あつぎ協働大学という、いろいろ市民と大学と連携しながら大きな事業をやっております。これが今、定着しております、これもかなり参画する機会がありまして、それやこれやで、小金井の社会教育に少しでもお役に立てればいいかなと思ってやってきました。

よろしくお願いいたします。

(原嶋委員)

おはようございます。原嶋と申します。

ここにありますように、体育協会からの派遣理事という形でかかわらせていただいています。社会教育委員が2期目ですけれども、まだまだ勉強半ばです。もうちょっと勉強しなければいけないのかなと思っています。中学校の学校教育のほうが長いということなので、そちらからのアプローチができるのかなと思います。足を引っ張らないように頑張りたいと思います。

よろしくお願いいたします。

(原田委員)

今回新しく公募委員の1人して委嘱いただきました原田隆司と申します。よろしくお願いいたします。

昨年、勤めを定年で終えまして、現在、無職2年生というところでございます。このまちにはもう25年住んでおりますので、生まれたふるさとよりも長くなりました。今後、一番長く住んでいる小金井に御恩返しをしたいという気持ちで応募させていただきました。自分でも学びながら、少しでもお役に立てればよいと考えております。

よろしくお願いいたします。

(古家委員)

おはようございます。

本町小学校の校長をやっております古家といいます。

2期目とありますけれども、ことしの3月に前任の校長先生が退職されたのを受けまして、校長会の中の役割分担でことしの4月からこの社会教育委員の会議に加わらせていただいております。

どうぞよろしく願いいたします。

(石原生涯学習課長)

ありがとうございました。

ここで教育長は次の公務がございますので、退席させていただきます。

(山本教育長)

よろしく願いいたします。

(山本教育長退席)

(石原生涯学習課長)

それでは、事務局側の自己紹介をさせていただきたいと思います。

生涯学習部長の西田のほうから挨拶をお願いいたします。

(西田生涯学習部長)

本日はお足元のお悪い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

生涯学習部長をしております西田と申します。

私と、後で紹介があると思いますけれども、生涯学習課長の石原、事務局で今回詰めております2人とともに、社会教育委員の会議の担当をさせていただく事務局という形になります。

社会教育、先ほど教育長も申し上げましたけれども、今まで培ってきた長い歴史を小金井では持っておりますが、変革の時代みたいなものに突入しているかなど。やはり社会とそれぞれの市民のあり方というものが変わっていく中で、生きよい生涯学習と市民、そしてそれを行政がどうサポートしていくかという立ち位置がちょっとずつ変わってきている中で、今、大きな変革を迎えようとしている。これは高齢社会という現象とも大きく結びついているのだろうと思っております。

また、少子化の中で生涯学習という中に、大きく考えますと、学校教育も生涯学習の一環だという考え方があります。そういう中でいいますと、少子化の中で、地域の中でどのように生徒児童を育てていくかというものも、見守り等を含めて、これも大きな学校教育及び生涯学習の課題となっております。

今般作成しております第3次生涯学習推進計画というものの中には、そういった観点も盛り込みながら、前期の社会教育委員の方が考えてきたところですが、それを受け継いでいただきまして、計画をよろしく願いしたいというのが今期の一番最初の

大きな仕事になるかと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

1期2年という形になりますけれども、そういう形の中で、我々も全力を尽くして社会教育委員の皆様と一緒に小金井の社会教育を考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

(石原生涯学習課長)

それでは、社会教育委員の会議を所管している生涯学習課で、仕事のほうは生涯学習係のほうで社会教育委員の会議を所管させていただいているのですが、所管の課長の石原と申します。どうぞよろしく願いいたします。

他に文化財の係長も兼任してございますので、生涯学習課文化財。あと、スポーツ振興係のほうも生涯学習課ということで所管しております。

どうぞよろしく願いいたします。

(上石図書館長)

図書館長の上石と申します。よろしく願いいたします。

社会教育委員の中から1名、図書館協議会のほうにも出向いただきますので、何かとお世話をかけますけれども、よろしく願いいたします。

(前島公民館長)

公民館長の前島と申します。どうぞよろしく願いいたします。

(小堀生涯学習係長)

生涯学習課生涯学習係長の小堀と申します。よろしく願いいたします。

(伊東生涯学習課生涯学習係主事)

生涯学習課生涯学習係主事の伊東と申します。よろしく願いいたします。

(石原生涯学習課長)

今回、第3次生涯学習推進計画の策定に当たりまして、策定の支援をしていただいている株式会社ぎょうせいさんのコンサルにも策定期間中は御同席いただいておりますので、自己紹介をお願いします。

(株式会社ぎょうせい)

株式会社ぎょうせいの須藤と申します。よろしく願いいたします。

(石原生涯学習課長)

ここから着座のまま進めさせていただきます。

まず正副議長の選任の前に、次第の次のページに社会教育委員の会議というペーパーを御用意させていただきました。こちらのほうに社会教育委員としての身分の取り扱い、会議の概略、出張などがあるということ、職務については先ほど佐野委員からも社会教育法のところに触れていただきましたけれども、簡単に社会教育法の中で社会教育委員が基本的に行うという部分だけを抽出して掲載させていただきました。

社会教育法全般につきましては、資料の中で社会教育委員手帳なども販売されているようにございますので、御興味がある方はそういった資料なども御入手していただいて、御確認いただければと思います。

次ページは、現在決まっている会議の予定となっておりますので、御参考にしていただければと思います。

それでは、部長のほうから座長をお願いいたします。

(西田生涯学習部長)

それでは、議長が選出されるまでの間、私のほうが仮の議長を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

それでは、議事に入ります前に議事録の作成方法について確認をさせていただきたいと思います。

市の会議につきましては、小金井市市民参加条例第6条の規定により、原則公開となっております。また同条例施行規則第5条には会議録の作成方法として、全文記録、発言者の発言内容ごとの要点記録、会議内容の要点記録の3つの中から選択することと規定されております。

本社会教育委員の会議につきましては、これまで発言者の発言内容ごとの要点記録を作成してきてございます。事務局といたしましては、引き続き発言者の発言内容ごとの要点記録ということで作成をしたいと考えておりますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

(西田生涯学習部長)

それでは、御異議がないということでございますので、そのようにさせていただきます。

なお、議事録作成の都合上、御発言の前にはお名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いしたいと思います。

## 1 協議事項

ア 正副議長の互選について

(西田生涯学習部長)

それでは、議事に移らせていただきます。

初めに議長の互選を行いたいと存じます。

議長につきましては、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選によって定めるものとされてございます。指名推薦の方法で行いたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と声あり)

(西田生涯学習部長)

御異議なしと認めます。

それでは、どなたか御推薦いただけますでしょうか。

では、小山田委員。

(小山田委員)

指名推薦ということで、前期も副議長をやっていた原嶋さんを私は推薦したいと思います。よろしくお願ひします。

(西田生涯学習部長)

ただいま小山田委員から原嶋委員を御推薦いただきました。これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と声あり)

(西田生涯学習部長)

では、これより先の議事進行につきましては、原嶋委員にお願いしたいと思ひます。

では、原嶋委員、申しわけございませんが、議長席のほうへお願いいたします。

私の職務はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

(原嶋委員、議長席へ移動)

(原嶋議長)

予想だにしていなかったのですけれども、原嶋と申します。改めて、よろしくお願ひします。

この名簿にもありますように、体育協会の理事をしておりますけれども、体育協会もいろいろ課題を抱えていますので、場合によっては皆さんに或いは教育委員会にご迷惑をかけるのかなということで、今、この席におります。2年間頑張っていきたいと思ひています。よろしくお願ひいたします。

次に副議長ということで、こう書いてあります。

副議長の互選を行いたいと思ひます。これには規約があります。副議長については、議長同様、社会教育委員の会議規則第2条の規定により、委員の互選によって定めるとされているということだそうです。どなたか立候補または御推薦等ありますでしょうか。よろしくお願ひします。

立候補並びに推薦ということですので、よろしくお願ひします。

(石原生涯学習課長)

もしあれでしたら、校長会の方は2期目なのですからけれども、そういった方が役職につくということはないので、1期目を少し見ていただいた古家委員のお考えをいただければ助かります。

(古家委員)

自分の考えということですのでいいですね。

私は、今、ちょうどこれを拝見しまして、原嶋先生は前回副議長だったときには1期目だったのだなと思ひまして、今回の28期もお務めで、半分の方が交代されているのだなということを考えたときに、任期2年の中で、次に2年後に交代するときにひょっとしたら原嶋先生は交代になられるのかなということを考えたときに、できたら新規の方の中から1名副議長として入っていただくほうがいいのかもしれないなど個人的には思ひました。

以上です。

(原嶋議長)

どうでしょうか。私も人となりはまだわかりませんし、きょう初めてお会いしたわけですが。

(石原生涯学習課長)

市のほうで男女の比率なども考えて選任などを行うように、委員自体も構成させていただいてございますので、そういったところもお考えに入れていただいて、選んでいただければいかかと思ひます。

(原嶋議長)

今の御助言で絞られてきた感がありますが。

(石田委員)

そうしましたら、柴田先生はいかがですか。新しい方からというのと、男性が議長ですので、次に比率から言うと女性になりますが。私たちは2期目なので、新規の方をということですが。

(柴田委員)

新規でまだいろいろわからないことがたくさんありますし、実は金曜日の午前中に今期、大学の授業が入っておりますし、申し上げにくいのですが、来年度は時間を調整いたしますが、もしかしたら欠席させていただく可能性があるのです。

(原嶋議長)

金曜日の午前中の御都合が。

(柴田委員)

はい。2月になったら大丈夫ですが、ちょっと。

(原嶋議長)

11月と1月の会議はちょっと厳しい。

(柴田委員)

はい。

(西田生涯学習部長)

日程のところは、申しわけなかったのですが、前期の委員さんのときに会議室をど

うしても先に、1年分とかとらないと場所のほうが確保できないということで先決めをさせていただいた経過がございますので、御了解いただければと思います。今の柴田委員の発言を受けて、皆さん方で。

(原嶋議長)

柴田委員は出席そのものが難しいと。

(柴田委員)

2月以降でしたらもちろん調整をいたします。

(石原生涯学習課長)

原嶋委員がそこまでは1人で、副議長のサポートが1月いっぱいまではそれでも大丈夫だと思われるか、やはり11月の会議から副議長がいらっしゃる中で進めていかれたほうがよろしいかというところもあるかなと思います。

あと日程も、これは委員さんが皆さん、4名の方しか今、前回から残っていない中で決めているので、皆さんがこの決められた日程では都合がつきづらいという御意見も多いようであれば、場所は別の場所になってしまうのですけれども、別の会場で、前後に動かして行うということも選択肢としてはございます。

(原嶋議長)

会議が滞ってしまいましたので、ぜひ御協力を。

(原田委員)

今のお話ですと、11月と1月も変更が可能ということですか。それでしたら、ぜひ柴田先生に副議長をしていただいたほうがよろしいかと思います。

(原嶋議長)

よろしいですか。

(柴田委員)

はい。お時間を要してしまいまして、申しわけございません。では、務めさせていただきます。

(原嶋議長)

原田委員さんもフォローに回っていますので、よろしくお願いします。

では、柴田先生はこちらに。

(柴田委員、副議長席に移動)

(原嶋議長)

では、柴田委員、改めて今の御事情も含めてお話をいただければと思います。

(柴田副議長)

改めまして、東京学芸大学の柴田でございます。

ふなれではございますが、社会教育を専攻している者として少しでもお役に立つことができるよう努めさせていただきたいと思います。日程調整のほうも、来年度に向

けてはしっかりと行いたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

(原嶋議長)

それでは、協議事項のレジュメの順にやらせていただきます。

イ 平成27年度の会議開催日について(確認)

(原嶋議長)

それでは、平成27年度の会議開催日について(確認)でございます。よろしく願いいたします。

(石原生涯学習課長)

先ほどの小金井市社会教育委員の会議というものの裏面が決定している日程でございますが、先ほど11月20日と1月15日については変更を考えていこうかなというところがございますので、11月20日、1月15日の改めての日程、下の「場所・日時未定の会議」という中で、一番下のところ「社会教育委員の会議小委員会 対象：全委員」。これは本来、小委員会につきましては、10名の委員のうち5名の委員をもって小委員会を構成することとしてございますけれども、本年度については、第3次生涯学習推進計画の検討のためということで、全委員の参加をもって小委員会の開催を行うこととしてございますので、そちらの小委員会の日程につきましても1日決めていただきたいと思います。

以上です。

(原嶋議長)

ただいまのことで御質問ありますか。

11月と1月の本会議につきましては、調整後通知をするということでよろしく願いいたします。

この件で何かありますか。

前期になりますが、皆様、お忙しい関係で、なかなか御出席をいただけないときがありまして、今、お話がありましたように、生涯学習の計画を策定しているときに多くの方々の御出席をいただかないと、決め事をしていく段階の中で難しいのかなということがありますので、これからまた調整して、日程の連絡があると思いますけれども、ぜひ御参集いただければと思います。よろしく願いいたします。

ウ 平成28年度の会議開催日について

(原嶋議長)

それでは、ウの28年度の会議開催日についてもよろしいですか。

(石原生涯学習課長)

11月20日の変更とかもこの場で決めていただければと思います。

(原嶋議長)

皆さん、頭の中に全て日程が入っている人は余りいないと思いますが。

(石原生涯学習課長)

この場で家に帰って見ないというお方もいらっしゃるようであれば、おおむねの曜日などだけ決めて、メールなどで調整させていただくか、この場でもう決めてしまうということか。

(原嶋議長)

午前中はいいですか。

御予定の中で曜日が何か。

(柴田副議長)

金曜日は失礼いたします。木曜日でしたらこの時間帯。

(古家委員)

木曜日が学校の授業で、木曜日は出られない。

(原嶋議長)

では、金曜日はだめ、木曜日はだめ。

(原嶋議長)

今みたいな形で皆さんにおっしゃっていただいて、先ほど言いましたが、できるだけ多くの方が御参加できる会議であるべきなので。

(石田委員)

金曜日の午後はだめですか。金曜日は全日講義ですか。

(柴田副議長)

済みません。月曜日の午前中でしたら調整できます。

(原嶋議長)

月曜日の午前中でしたらいかがでしょうかということですがけれども、古家先生は。

(古家委員)

11月16日だったら大丈夫です。

(石田委員)

私も大丈夫です。

(古家委員)

この週の月曜日ですか。

(西田生涯学習部長)

曜日で手を挙げていただいたらどうですか。この曜日はだめだという。今、木、金がだめという方が多かったですね。

(原嶋議長)

残っている水曜日はいかがですか。

大丈夫ですか。では、第1回目は11月18日の9時半でよろしいですか。

(石原生涯学習課長)

場所のほうは変更になると思いますので、お知らせいたします。

(原嶋議長)

では、11月18日水曜日。9時半からということでよろしくお願ひします。

そうすると、1月につきましてはどうしましょう。それはまた調整ができますか。

1月につきましてはどうしましょう。1月13日、水曜日でよろしいですか。

(「はい」と声あり)

(原嶋議長)

それでは、改めて確認いたします。

11月18日水曜日、9時半から。そして28年、年が明けては1月13日水曜日、時間は9時半から。場所等についてはまた御連絡があるかと思ひます。御協力ください。

(石原生涯学習課長)

この会場が市外になっているものについては、市町村の連合が設定している日程なので、2月18日であるとか、12月5日、11月28日については連合でやっている日程なので、これについては変更がききません。

(原嶋議長)

年間行事で決められていますので。

(石原生涯学習課長)

あと、2月19日金曜日がまたこれも出席が少ないようであれば、あわせてこの場で決めてしまうかどうか。

(原嶋議長)

これは来年度にならないとわからない。

(柴田副議長)

2月19日は私は大丈夫です。

(原嶋議長)

2月19日でしたら、9時半からの会議は大丈夫だそうです。

皆様、御都合はどうですか。

では、2月19日金曜日の本会議につきましても9時半からよろしくお願ひします。

(石原生涯学習課長)

あと、小委員会はどうしますか。もう小委員会は今年度中、あと1回しか。前期のほうで回数を使っているのだから、設定ができないのだから、これは3次計画の進捗状況の中で決めさせていただくということにさせていただきます。

(原嶋議長)

小委員会は全員ということですから、改めて日程を決めていくということをお願いいたします。

それでは、この件ではよろしいですか。

そうすると、イ、ウはよろしいですね。

(石原生涯学習課長)

ウが28年4月からの会議日程ということで、もしこの場で28年度、この曜日この時間帯でということを設定できるのであれば、この会場を先取りして、年間をとってしまうことができるのですが。

(原嶋議長)

4月からですか。皆さん、読めますか。大丈夫ですか。

(長坂委員)

勝手に言わせていただくと、来年度、月曜日と木曜日は私は絶対だめなのです。たまたまこの委員会はずっと来年度も外れていますね。非常にいいなと思っていた。好都合だと思っていたのです。勝手ですけども、できれば月曜日と木曜日はずしていただくと好都合でございます。だけれども、大多数の方が御都合がよければ、欠席すればいいのですからね。そういうことで、できたらということをお願いいたします。

(原嶋議長)

長坂委員のほうからは、月、木が御都合が悪いようです。そのようなことを勘案して、きょうで決めてしまうというのは難しいか。

どうぞ。

(北村委員)

学校関係なので、どうしてもその月によって学校公開とかが入ってしまうと、そちらを優先したいのです。何とも言えないです。

(原嶋議長)

4月から。

(古家委員)

年間が2月ぐらいにならないと多分出ないのですね。

(原嶋議長)

もう少し待っていただけないのですか。今、長坂委員はそういう御要望がありました。

柴田委員も来年度の授業とか。

(柴田副議長)

これから決めますので、調整します。

(石原生涯学習課長)

そうしましたら、11月に用意ドンで会議室取りが始まってしまうようなのですけ

れども、2月ぐらいにならないと決まらないということであれば、場所が毎回毎回動いてしまう可能性はあるのですけれども、そのころになるべく皆さんが出られる日程で調整させていただきたいと思いますので、ペンディングということで。

(原嶋議長)

いろいろ日程を変えましたね。その会議の都度御連絡いただけるのですか。年間を決めてしまったら通知はないというのかどちらか。

(石原生涯学習課長)

年間を決めても、1週間前なりに御通知のほうは毎回差し上げます。

(古家委員)

今、お話を伺っていて、例えば大学関係の先生はほぼ毎週この曜日とこの曜日は難しいけれども、この曜日はいいという状況だと思うのです。例えば私とか北村さんみたいに学校関係だと、曜日というよりも、その月の中の個別の予定。例えば私も水曜日、木曜日が校長会とかがあるのですけれども、これは月1回ずつのことなので、毎週というわけではないです。ですから、例えば今、長坂先生のほうから月、木が厳しいということであれば、金曜日は柴田先生が調整してくださるということであれば、金曜日で予定をして組んでみて、私や北村さんが金曜日に何か入ってしまったらそれはしょうがないというぐらいにして、早目に予約だけ入れておいて、どうしても厳しいときだけ変更するみたいにしておいたほうがかえってやりやすいかもしれないという気はするのですけれどもね。

(北村委員)

私もそうしていただけると助かります。

(原嶋議長)

学校関係は来年度のは大体2月、3月ですね。ちょっと読めませんものね。

(古家委員)

はい。2月にならないと難しいですね。

(原嶋議長)

そうすると、今、古家委員がおっしゃったようなことで、基本線は金曜日ということで埋めていって、変更があればここでまたお話し合いを進めていく。ちょっとあちこち行って済みませんけれども、お願いできますか。

(「はい」と声あり)

(原嶋議長)

では、来年度の4月以降については、金曜日ということ为原则として進めていく。

(城委員)

それも大体金曜日の午前中と考えてよろしいのでしょうか。私もクラブがあるので午後3時までには学校に行かないといけないので。

(原嶋議長)

午前中で皆さんよろしいですか。

(「はい」と声あり)

(石原生涯学習課長)

そうしましたら、来年度については、本会議が8回あります。今までの例などを見て、月の配分などもこちらのほうで考えさせていただいて、会議室のほうを仮予約という形で日程を入れて、2月ごろに決まったそれぞれの御日程で、余りに出られる方が少ないような日程については変更させていただくということで進めたいと思います。

(原嶋議長)

今のは御了解いただけますね。

(「はい」と声あり)

(原嶋議長)

では、よろしく願いいたします。

エ 小委員会日程の検討について

(原嶋議長)

エ、小委員会の日程については進捗状況を見ながら御提案いただくということで、生涯学習計画の策定の進捗状況を指しています。

日程はそれでよろしいですね。

オ 放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任について

(原嶋議長)

放課後子どもプラン運営委員会への出向委員の選任についてということですが、これはやりたいという方がまず第一ですか。

(石原生涯学習課長)

ちなみに、10月23日の10時からもう会議の日程が決まっております。

(原嶋議長)

出向委員ですけれども、どなたかお願いできますか。

(石原生涯学習課長)

佐野委員は別のところから放課後子どもプラン運営委員になられていらっしゃいます。

(原嶋議長)

あとお一人この中で選んでいただいて。

(小山田委員)

これは年間何回ぐらいでしょうか。

5回ぐらいであればやらせていただければと思いますが、立候補でよろしいでしょうか。

(原嶋議長)

意欲的な。では、小山田委員に放課後子どもプラン運営委員会への出向ということで、皆さんも御承認いただけますか。

(「はい」と声あり)

(原嶋議長)

では、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

## 2 報告事項

ア 第3回市議会定例会について

(石原生涯学習課長)

次の議題に入る前に部長が次の会議の予定がありますので、先に報告事項アをさせていただきますと思います。

(原嶋議長)

皆さん、今、聞こえましたね。

復唱しませんけれども、そういう御都合があるようで、アについて部長さんのほうから。

(西田生涯学習部長)

申しわけありません。

では、お言葉に甘えさせていただきますして、報告事項アの部分、第3回市議会定例会についてということでございます。

これは社会教育委員の会議の直近の議会の動向につきまして、かいつまんで御説明を毎回させていただきます。本来ですと議事が終わってからの報告になるのですが、今回に限り、早目にさせていただきますと思います。

平成27年第3回市議会定例会でございますけれども、決算審査も行われておりましたために、8月31日から10月5日までの36日間という長丁場での会議となっております。

まず一般質問といいまして、議員が一人一人、市長部局あるいは教育委員会等に関しまして質問ができる。1時間の持ち時間で質疑を含めてという条件があるのですが、そういった中で自由に質問ができる一般質問という制度がございまして、生涯学習部に関しましても、5人の議員から質問を受けたところです。その主な質問について御紹介させていただきます。

生涯学習課関連では2人でございます。

まず関根議員、共産党の議員さんですけれども、玉川上水近隣住民のボランティアの市民の協力と行政のよりよい関係をとということで、玉川上水周辺についてボランティアとして許容される作業範囲等についての質問及び住民との継続的意見交換の場の設定についての質問といったものがされております。

お二人目ですけれども、自民党の中根議員でございます。中学生の職場体験、ボランティア体験の実情はということと、その中で特に青少年のための科学の祭典にかかわる程度についての質問及び子どもたちの地域スポーツの活動状況についての質問がございました。

次に図書館及び公民館をひっくるめてという形でお一人の方から質問がありました。自民党の中山議員です。貫井北センター事業運営委託評価と東センター事業運営委託の現状についてという質問でございました。

次に公民館関係からお二人の議員さんが質問をされております。

緑・市民自治こがねいの片山議員ですけれども、来年3月の福祉会館閉館に関し、公民館利用者の活動保障策について及び公民館と社会教育の今後について質問がございました。

もう一方ですけれども、市民会議の斎藤議員です。福祉会館に現存する機能のうち現時点で仮移転先を決めている機能は何かということで、現公民館本館の事業をどうするかという質問がございました。

次に御報告いたしますのは、9月10日に行われました厚生文教委員会の関係でございます。生涯学習部の関係では陳情が2件、「小金井市公民館本館の閉館に伴う代替施設の設置等を求める陳情書」及び「小金井市福祉会館の閉館にともなう建替え期間中の代替施設の設置を求める陳情書」の審査が行われ、採択の結果、委員会及び本会議においても採択となりました。

また小金井市公民館条例の一部を改正する条例についても審査が行われ、委員会及び本会議において特段の質疑もなく可決されました。

3番目に、平成27年度第4回一般会計補正予算でございます。可決をされております。生涯学習部関連では、生涯学習課スポーツ振興係関連の予算が可決されております。具体的には、歳出について障がい者スポーツの振興を図るため、オリンピック・パラリンピック関連の補助金を活用し、特別支援学級設置3校に個別事業を行うため、障がい者スポーツのための器具類購入予算、指導者用予算を設定し、活用するものでございます。

最後に平成26年度決算でございます。10月5日に平成26年度一般会計歳入歳出決算が認定されました。生涯学習部が関係する社会教育費及び保健体育費についてでございます。平成26年度においては、チャレンジデーへの初参加、貫井北センタ

一の委託運営開始などが特徴的な事業としてございました。社会教育費が予算現額7億3,770万7,000円に対し、支出済み額7億2,635万3,191円、執行率98.5%。保健体育費が予算現額3億907万3,000円に対し、支出済み額3億779万2,313円で、執行率98.6%でありました。

なお、主な質問としては、上水公園テニスコート等の有料化について、貫井北センターに関して、委託先NPO法人に関して、チャレンジデーの効果等に関して、清里山荘の有効利用に関して、公民館企画実行委員に関して、総合体育館の修繕に関して、決算年度中に準備しておりました東センター委託に関して等がございました。

以上で報告を終わらせていただきます。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

この報告に対して、皆さんに何か御質問を。

(西田生涯学習部長)

受けますので、何かありましたら。

(原嶋議長)

ないようです。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

## 1 協議事項

カ 第3次小金井市生涯学習推進計画について

(原嶋議長)

それでは、元に戻ってよろしいですね。

出向委員は決まりましたので、カに入ります。第3次小金井市生涯学習推進計画について、よろしいですか。

(事務局)

配付資料の確認をさせていただきたいと思います。

まず1枚目に本日の次第、両面刷りのものがあります。

その次に先ほど課長のほうから説明がありました小金井市社会教育委員の会議についてという両面刷りのものが1枚あります。

その次に小金井市社会教育委員名簿(第28期)があります。

その次が小金井市社会教育委員の設置に関する条例です。こちらは両面刷りのもの1枚になります。

その次が小金井市社会教育委員会会議規則になります。これは片面刷りです。

次がホッチキスどめのものになりまして、小金井市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱になります。ホッチキスどめで両面のものが1枚と片面のものが1枚になり

ます。

その次が第27期社会教育委員からの申し送り事項。こちらは両面刷りのものになります。

次が小金井市公民館運営審議会委員名簿（第33期）になります。

その後が3市連携ボランティアセミナーのチラシ、白黒のものを1枚、委員さんには配付させていただいております。

青いチラシのもので文化財センターの企画展のチラシになります。

先ほどこちらのカラー刷りのメンタルトレーニング講演会のチラシを配付させていただきました。

委員さんのほうに、封筒のほうに入れさせていただいたのですが、社教情報第73号という小さい冊子が入っていると思います。

その次に、こちらも見開きの冊子で社教連会報というものが入っているかと思いません。

その次が月刊こうみんかん。

その次がカラーのものになりまして、とうきょうの地域教育。

その次がオレンジ色の冊子になっていまして、平成25年度放課後子ども教室報告書。

配付資料は以上になります。過不足等ございましたらおっしゃってください。

事前に配付した資料になります第3次小金井市生涯学習推進計画の素案をお渡ししておりますが、本日お持ちになられていますでしょうか。

ございますでしょうか。

（「はい」と声あり）

（事務局）

配付資料の説明は以上になります。

（原嶋議長）

過不足についてはよろしいですか。

では、配付資料ではないほうでお願いいたします。

（石原生涯学習課長）

では、議題にあります第3次生涯学習推進計画について、現段階で前期の方々の御尽力によりまして、この素案のものにまでまとまっている段階でございます。

初めのほうから、14ページまでのところについては前提条件でございますので、事務局のほうで書き込みをさせていただいているところでございます。

15ページ以降も振り返りということでございますけれども、昨年度の社会教育委員の会議のメンバーの方々の御尽力で、第2次生涯学習推進計画の評価については一定、御評価いただいたところでございます。こちらの現段階の15ページから18ペ

ージにつきましては、もっと細かに社会教育委員の皆様には評価をまとめていただいたのですが、事務局のほうでかなり表面的なところだけを触れているようなつくりにしてございます。

19ページ以降は、まとめていただいている本質的なところとか、そういった部分になってございまして、基本理念の中で困っております「学びの継承・未来の創造」「学びでつなぐ 人・まち・こがねい」の部分は、前期の委員さん方が一致して、いろいろな御意見はあった中で、皆さんでこれにというところでまとめていただいたものがこの基本理念のキャッチフレーズになっております。

21ページのところに施策の概要ということで体系図がございまして、この体系のまとめにつきましても、前期の社会教育委員の方々に御議論いただいて、こういった施策体系にするのがふさわしいとまとめていただいたものでございます。

22ページ以降の重点プロジェクトというものにつきましては、前期の最後のほうに事務局提案で重点プロジェクト事業を出ささせていただいて、おおむねこれは重点にふさわしくないというような御意見はいただいているところでございますけれども、重点プロジェクトの項目ですとか、書き方についてはまだまだ掘り下げができていない段階でございます。

私のほうからの説明は以上です。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

きょう初めてごらんになった方が多いと思いますので、まずは御質問を。

(石原生涯学習課長)

事前にお配りしたときに、初めて見る中でわからないこととか、取っつきづらいところとか率直な感想などをいただければという形で事前配付させていただきました。

(原田委員)

幾つか質問があるのでございますけれども、1つは、第3次ということで、第1次からのこの計画があるようでございますが、第1次が5年間で、第2次は21～27で随分長いのですが、これは何か事情があって延びたのでしょうか。それがまず1点。

もう一つは、途中に出てきます平成24年度を目標とした小金井市地域教育会議の発足というのは現状どうなっているのか。この2点をお願いいたします。

(石原生涯学習課長)

期間については基本、5年間の計画期間で定めてございまして、第2次生涯学習推進計画につきましては、当初5年間の予定で計画を進行していたところでございますが、計画の終期である平成25年度中に、平成26年度、27年度に第3次後期基本計画の策定。市の根本的な計画の策定期間を迎えるというところで、その後期計画の策定期間と計画期間をそろえるために2年間の延伸を図るということで了承さ

れたものでございます。

あと、地域教育会議についてでございますけれども、こちらにつきましては、前期の委員さんからも評価の段階で厳しい御指摘を受けたところでございますが、全く実効的な検討がされていないのではないかと御批判をお受けいたしました。これについて、さまざま地域の教育の会議というところで、放課後の子ども教室なども学校区ごとの推進委員会を設けて、そういった地域の教育の力をいただくというような取り組みをしていたり、また学校教育の部門でも、その学校ごとの学習支援などにボランティアを活用したりしている現状はあるのですが、1つの取りまとまった地域教育会議というものの設定にまでは至らなかったのかなというところが反省点でございます。

(原田委員)

ありがとうございました。

(原嶋議長)

よろしいですか。

ほかに御質問ありますか。

結構前から配付されていたようですので、御指摘の部分があればおっしゃっていただければと思います。

(原田委員)

もう一つよろしいですか。

9ページにあります小金井市生涯学習支援センター機能の実現とあるのですが、機能と書いてあるということは、何か箱物をつくるよりは、センター的なものをどこかに機能を持たせるとか、そういうことも含んだ表現なのでしょうか。

(石原生涯学習課長)

こちらのほうは、いろいろ箱物的なものの構想は市民協働センターであるとか、男女共同参画センターであるとか、さまざま枚挙にいとまがないところでございますけれども、そういった既に先行しているセンター構想の後に出される中で、また箱物的なものを提言すると実現性が低下するのではないかと御議論もあった中で、必ずしも箱物に限らず、機能だけでも構わないので、実現に向けて進めてほしいというような意味合いから出された提言であるというものでございます。

これは佐野委員がいらっしゃったときの。

(西田生涯学習部長)

私もおりましたので、補足させていただきます。

まさに今、課長が説明したとおりで、箱物箱物とこだわっていると、一言で言うてしまうと、お金がないとそれで終わってしまう。それでは本末転倒であるので、そういった機能を充実させるのが目的であって、箱物をつくれればいいというものではない

ので、どちらに重点を置くのかというと、建物を建ててほしいという要望ではなくて、建物でやろうとしていたことをどこかでやってほしいという意味だということで、このときは提言をまとめられたと記憶しております。

(原田委員)

よくわかりました。賛成です。

(佐野委員)

私はそのときに委員でおりましたので、今、課長、部長もおっしゃったように、財政が逼迫している小金井市でそういう支援センター的な建物を要求するというのではなくして、生涯学習を多くの市民の方ができるような機能をつくるべきではないかという話で提言をまとめた。私はそう思っております。

たしかこれは提言ですから、何ページかの小冊子になっていると思うので、どこか資料が下にあると思うので、もし興味がおありでしたらちょっと読んでいただくと、このようなことをやっていたのかなと思っていただけて、非常にいいかなと思います。

(西田生涯学習部長)

ホームページにも載せております。各課のホームページを押すボタンがあるのですが、それでも、そこで生涯学習課を選んでいただいて、資料の中に提言がたしか掲載されていたと思います。もし御興味がありましたら。

(原嶋議長)

バックアップをありがとうございました。

機能ということで、箱物ではない。

それでは、ほかに御質問ありますか。

どうぞ。

(北村委員)

すごく初歩的な質問で恥ずかしいのですが、このつくられた学習推進計画というのはどこで配られているのですか。

(石原生涯学習課長)

こちらについては、1,400円で有償頒布しているのです。つくったときには、社会教育関係団体さんとかに1部ずつとか、そういった形ではお配りしていると思うのですが、どなたにも無料でという形では配付してございません。

もう配り切ってしまったのですが、こういうダイジェスト版をつくって、これについては全て配付を終えているので、できたときにかなり広範囲に配ってあります。

(西田生涯学習部長)

こちらは無料でした。

(北村委員)

そうなのですね。小金井に住み始めて3年目なのです。引っ越ししてきたときにいただいた資料には入っていませんでしたので、いつ配られたのかなと思いました。

(西田生涯学習部長)

市のほうでも、こういう冊子をつくと当然お金がかかってしまいますので、無料で配付できればいいなと私なども思っているのですが、そういうことはどの冊子もしていない状況で、有料で配られている。そのかわりに、先ほど言いましたように、ダイジェスト版は無料でいろいろ配らせていただいたのですが、今、第3次をつくっていますので、今さら第2次のものを増し刷りするということにはならないです。また第3次ができたならこういうダイジェスト版なども考えなければいけないかなと思います。

(北村委員)

ありがとうございます。

(古家委員)

素朴な疑問として、質問でお聞きしたいのですが、私も自分で4月からこのメンバーに参加させていただいて有償であるということを知ったのですが、すごくざっくばらんな質問として2つなのですが、1つは、この冊子は1,400円で有償ということなのですが、実際に1,400円を出して御購入された方がどれぐらいいらっしゃるのかということと、第3次の計画については同じような方法をとられるのか。もう少し質を落として安価なものにされる方向なのかということをお伺いしたい。

(石原生涯学習課長)

ダイジェスト版のほうはもう在庫がない状況なのですが、こちらについては、まだ在庫があるということです。それは頒布が余り盛んではない。有償はどうしても業務的に必要な方がお買い求めになられて、社会教育に熱心な活動をされている方で買い求めるまでいこうというところまでの値段と内容のバランスがとれなかったのかなというところがあります。

これも一定、どれだけの費用で何冊つくったかということによって、市の中でこれだけの負担を求めなさいという基準はあるのですが、性格によって、これは安くしてでも頒布すべきものとか、そういった意思によって値段を下げたりすることは可能なので、その第2次の反省点を踏まえた上で、第3次についてはより広く広まるようにしていきたいと考えています。

(古家委員)

それに関して個人的な意見なのですが、多分、有償で1,400円で購入しなければいけないことを目指しているのか、そうせざるを得なかったという形で、このカラー版の立派なものをつくられたと思うのですが、このカラー版のものをつくと相当な印刷製本費がかかっていると思いますけれども、現状でかなり残って

いるということは、当初の第2次推進計画をつくった段階で、もし有償でできれば大分回収できるかなみたいな部分のこともあったと思うのですけれども、その辺の誤差といたしますか、その辺は総括してどうだったのでしょうか。

(石原生涯学習課長)

つくったときの計算を間違っていたというところは私のほうで申し述べることは、その当時に責任を持って計画を立てた者ではないので、述べることははばかれるのですけれども、例えばここに社会教育の関係団体の方などもいらっしゃる中で、お手元に会の中で持っていらっしゃるのか、持っていらっしゃらないのかというような話をお聞きすればどういった状況かというところは見えてくるかと思います。

(佐野委員)

私も委員の1人として、財政課に行きまして購入しました。しっかり読まないといけないだろうと思いましたが、購入いたしました。

(古家委員)

ということは、第3次推進計画については同じようなやり方になるかどうかはまだわからないということによろしいのですね。

(西田生涯学習部長)

ただ、何か冊子をつくったら無料配布ということはちょっとできないかなと思います。これは今の市の財務方針に反してしまいますので、その中でどうバランスをとるか。

今、古家委員がおっしゃったように1,400円を出して買う人がどれぐらいいるのだろうか。そうしたら、1,000円ぐらいに抑えて、もうちょっとカラーとかも抑えて刷ったら、変な話、元がもうちょっととりやすくなるのではないか。いろいろな議論はあってしかるべきだとは思いますが。

(原嶋議長)

この件で何かありますか。

では、ほかのことですか。

(石原生涯学習課長)

もしあれでしたら、重点プロジェクトのところの議論が前期のときに余りできていなかったもので、その辺を。

(原嶋議長)

22ページですか。

(石原生涯学習課長)

そこからの項目で過不足など考えられることがあったら御意見をいただければと思います。まだ中身ができていない中で、お願いするのも恐縮ですが。

(石原生涯学習課長)

きょう初めてということで、第2次の推進計画もまだ読み切れていない方もいらっしゃると思うので、きょう中に全部まとめるというのはちょっと難しいと思っていますので、ここで御意見をある程度いただきながら、またまとめるという作業は必要かなと思います。

(原嶋議長)

きょう、課長さんのほうでメインで協議してほしいというのは、第1節の重点プロジェクト1、2、3ですか。

(石原生涯学習課長)

中身はないので、12個のお題目だけなのです。

(佐野委員)

これは先ほど事務局の提案でというお話がありましたけれども、前期の26年度の社会教育委員の会議にはかけてはいないのですか。

(石原生涯学習課長)

かけております。

(佐野委員)

そうすると、前期の社会教育委員はある程度これについては納得して、こういう方向でいいのではないかということででき上がっていると考えてよろしいですか。

(石原生涯学習課長)

項目とすれば、十分というか、過不足はないのかなというような御意見はいただいております。ただ、書き方の表現、項目に対してどうそれを書き込むかというようなところは、事業名で出ているものもあれば、何らか目標というか、そういう書きぶりになっているものもあったり、書き方の統一性だとか、そういったものは必要だなという御意見をいただいているのかなと思っています。

(原嶋議長)

どうぞ。

(佐野委員)

前期の委員の方にある程度お話をしていただいたほうがわかりやすいのではないかと思いますけれども、どうでしょうか。

(原嶋議長)

これはたしか最後のほうに出た、市教委のほうから自分たちの課題として出すということなので、どちらかといったら、我々は深くは討議していない感じですね。

私は細かいことを頭の中で整理できていないですけども、1番の生涯学習情報の発信とありますね。言葉の使い方と言うと、放課後子ども教室ということだとまわっているのですが、これはどうするのかというような文字表現の問題などは出てくるよということでは、そういう話は出ていたのかもしれませんがね。

(小山田委員)

私も前回のメモを見ているのですけれども、前回の中で、最後に多分短い時間の検討で終わったと思うのですが、重点プロジェクトの例えば2番の放課後子ども教室でこちらも項目名で変更予定ありとありますが、このときは、たしか放課後子ども教室という特定のものではなく、青少年の居場所づくりの充実というような表記方法というか、そういった内容がよいのではないかという意見が委員のほうから出ていました。

あと、11番の学びを継承するための仕組みづくりというところも、ちょっと抽象的なのではないかということで、もう少し何か具体的な名称というか、そういったことを考えたらいいのではないかという意見が出ておりました。

12に関しては、歴史に親しむ機会の提供ということですが、その前、頭に郷土の歴史に親しむ機会を提供という、郷土のというものを入れたらよいのではないかという意見が出ておりました。

こちらの項目にはないのですが、前回の中村議長から、地域教育力向上のための支援という、これはまた中長期の計画とも関連するのですが、コミュニティスクールというようなことも視野に入れたものも入れたらよいのではないかという意見が出ておりました。

とりあえず、私はそういったメモになっております。

(原嶋議長)

佐野委員の御質問で言うと、今ぐらいのレベルでの話し合いです。一つ一つ吟味して意見交換をしていないです。ぎりぎりのところで市教委のほうから提案されたものの中で、我々が盛り過ぎたというか、こうしたらいいのかというレベルのことです。

(古家委員)

私は多分このときいなかったような記憶があるのですけれども、今、この12項目を見まして、もしできたらこうしたほうがいいのではないかと思うのは、重点プロジェクトという、重点施策というのでしょうか、そういう部分でいくと、1つは結構具体的な内容が入るといふ部分の項目もあると思うのですが、今回の第3次計画の特に第4章か5章か、後のずっと具体的な部分を総括した部分での全体の方向性みたいなものと両方あるのではないかと思うのです。

そういう意味では、重点プロジェクトの最初に出てくる項目というのは、第3次推進計画をつくった、その基本方針みたいなものに関する、いわゆる全体にかかわるような部分。例えば1番の生涯学習情報の発信などというのは、これは全体にかかわる部分だろうと思うのです。2番目の放課後子ども教室というのは、具体的な内容のことに関すると思うのです。3番目の人権教育の推進というのは、どちらかというとも全体にかかわる部分かなと思うので、全体にかかわる部分を項目の前のほうに持っていく必要があるかなと思います。そこには、やはり今回の第3次計画をつくる上で大事

にした視点みたいなものを項目に分けて入れる必要があるかなと思っております。

その中に、第3次計画をつくる中で、私は半年間しかかかわっていないのですが、結構重点的な視点として入れたものが、子育て支援みたいなところは結構重点的に考えられたのではなかったかなと思うので、この項目にもし子育て支援の充実みたいな部分が入るならば、それは結構重要な項目かなという気はいたします。

(原嶋議長)

全体をまず優先順位として挙げて、具体的なものは次に挙げるというような提言ですね。要は前期云々というよりは、この会の中での発信というか、ここでゼロからと考えていらしていいのではないかと思います。前の方がどうこうではなくて、本当に短時間でこれはいってしまった感じがするので、ゼロからの出発ということで御提案願いたいと思います。

どうぞ。

(原田委員)

要望ですけれども、そういうことでありましたら、この重点プロジェクトは多少項目もふやして、現在ダミーで、私たちは中身が全然わかりませんので、ラフな文章で結構ですから、事務局として原案をつくっていただいて、それをもとに議論するという機会を設けていただいたらよろしいのではないかと思います。

(原嶋議長)

項目に対して裏づけとなるものですね。

御意見、御要望等ありましたらお願いいたします。

お願いします。

(佐野委員)

これをもう一回見直すという形になるのですか。

(石原生涯学習課長)

裏づけ的な情報を入れていなくて申しわけなかったのですが、私どもからは、今、後期基本計画の事業とかと、重点的なものを重複しているような部分から抜き出してはあるので、上位計画との整合というところでは、余り問題的なものは出てこないかなと。追加とかをした場合に、これは生涯学習部だけでできる事業ではないので、それについて他の市長部局とか、そういうところも重点として一緒に取り組んでいくという体制がとれるかどうかという問題も、この中は後期計画で取り上げられているものなので、全庁的な協力体制はほぼとっていくということが確約されているものかなと思っております。その辺の情報なども含めて次回はやらせていただきます。

(原嶋議長)

佐野委員のほうはよろしいですか。

(佐野委員)

どう答えていいのかわからない。

(西田生涯学習部長)

補足させていただきますと、要はこの重点計画というのは今、作成中の、先ほど原田委員の御質問に課長が答えましたけれども、なぜ2年間延伸したのかというのが、今、市の一番の根幹の計画となる、中心計画の後期基本計画という長期計画をつくっているのです。それとの整合を考えてここに載せたということです。個別計画が上位計画をないがしろにするというのはおかしいのですけれども、踏まえなくてつくってしまったとしても、多分、一貫性がなくなってしまうので、逆に言えば、今回合わせたのは、今まで一貫性が余りなかったのです。市の根幹計画となる長期計画と、第1次生涯学習推進計画、第2次で、当初考えていた計画というのは、この長期計画とはずれる形でつくっていましたので、要は余り関係なくつくっていたところがあるのです。それが反省点として、やはりそういう大きな計画にきちんと連関させないと財政の裏づけにしても、全庁的な体制にしても裏づけがとれないという反省から、連関させるように持っていこうということになったので、その視点で重点計画はつくったという背景がございますので、その情報が確かに足らなかったかなど。

中身も実際ダミーです、ダミーですとしか書いていないので、もうちょっと情報を入れた形で議論をしていただいたほうが多分はかどるのではないかと思います。

(石田委員)

今、部長の話も聞いて、あわせてだんだん思い出してくるのですが、後期基本計画が報告されなければ、私たちの意見を言っても意味がないのではないかと、たしかその後には会議があるので、その報告をこちらが受けるということをしていなかったかしら。

(西田生涯学習部長)

多分そのような話はあったと思います。

(石田委員)

ですから、ここについてこの紙1枚の中で重点プロジェクト計画というものが私たちに与えられて、ただみんなでこれについてこうこうと個人的な意見を言っただけにすぎないという状況で前回は終わったと思うのです。やはり具体が出ないと。

(西田生涯学習部長)

ですから、逆に言えば、今度はその意見と後期基本計画に出ている意見をすり合わせみたいなことも必要になってくるので、当然情報をこちらからお出ししないと、いつまでもまとまらないという形になっていってしまうと思いますので、それはこちらでも十分考慮して、情報を提供するとか、こういう議論になるとか、それは必要かと思っています。

(原嶋議長)

どうぞ。

(古家委員)

ぜひ基本計画の項目だけでもいいですから、そういうものが資料としてあると照らし合わせながら議論ができると思います。

(石原生涯学習課長)

次回以降の議論の資料としてそういうものをお出ししないと多分進んでいかないので、それは配付するという事で、事務局のほうでやらせていただきます。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

(佐野委員)

市の基本構想、その下に前期と後期の基本計画。それに生涯学習の計画といいですか、それが合っていないとやはりおかしいのではないかということで、2年間少しずらしたと。今度から、28年度からたしか計画が全部合った形でいろいろ進めていけると承知をしているのですが。

(石原生涯学習課長)

佐野委員のとおりでございます。

(原嶋議長)

今の件はよろしいですか。

(西田生涯学習部長)

ちなみに言いますと、この考え方は割と全庁的にこうしようという話にまとまってきていまして、子ども読書推進計画についても、生涯学習部関連で言えばそうですし、ここも実は2年延伸したのです。合ってなかったものですから、それも生涯学習推進計画も子ども読書推進計画に密接に絡んでいますので、やはり関係なく進んでいくという話にはならないということで合わせていますし、あすの小金井教育プランについても来年度ということで合わせていこうという、今は全庁的にそういう流れになっていっています。今までばらばらだったのがまずかったという反省です。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

議長のほうでまとめさせていただくということですか。上位計画、言ってみれば基本計画をきちんと皆さんに、古家先生の言葉をかりますけれども、それを羅列していただいて、そしてその重点プロジェクトとの整合性というものを比較する。できたら、例えば1番、2番、これはダミーで文章はないのですけれども、裏づけとなる文章が入ったものがこれから出されていくということでよろしいですか。

事務局の方も要望ばかりで大変なのですが。

(西田生涯学習部長)

でも、それをやらないと多分先に進まない。まとまらないと思います。

(原嶋議長)

よろしいですか。

その次に何か。

上位計画との関係の話し合いを進めました。

次に何かほかのことでありますか。要望も出ましたね。青少年の居場所づくりとか、そういう表現の仕方も出てくるかと思います。

どうぞ。

(古家委員)

多分もうそんなにきょうは意見は出ないかなと思うので、確認なのですけれども、新しいメンバーでスタートしたわけなのですが、第3次推進計画を最終校正というか、もう原稿になりますよとつくり上げるタイムリミットは具体的にはいつになりますか。

(原嶋議長)

課長さん、どうぞ。

(石原生涯学習課長)

一定のものにまとめるタイムリミットとすると、11月いっぱいには市民の方に意見募集とかをするところまでまとめていただけると、12月1日から1カ月間、パブリックコメントができるので、そうすると、そのタイミングですと、議会などでも、3月の議会のときに市民の意見をまとめてこのようになりましたという報告もできてくるので、事務方にとってはありがたいかなと思います。

(原嶋議長)

よろしいですか。

私が言っただけですけれども、11月いっぱいというのと、あと1回の会議で決めるという神業的なこと。

どうぞ。

(古家委員)

そうなりますと、今の重点プロジェクトの部分については、いきなり資料がここに配られてそこでということやると1時間程度の議論ではなかなか難しいと思うので、次に小委員会なり、この会を持つまでの間に、今言った重点プロジェクトに関する部分として、基本計画の項目みたいなものと、今みたいなもの。可能ならばその要因となるようなものも含めた一覧表みたいなもの、もしくは数ページにわたる資料ができ次第、メールの添付ファイルで送っていただいて、事前に目を通して今度の委員会に参加できるような形にさせていただいたほうがより有意義にできるかなと思います。

(石原生涯学習課長)

私の先ほどまでのイメージは、この重点プロジェクトの中に全部流し込んだ中で皆さんに次回の会議でお見せしたらということも思っていたのですが、それでは間に合わないのかなという御発言もいただきましたので、ここの中に入れるには雑駁過ぎるのかなというものしかでき上がらないかもしれませんが、現段階の項目をもとに入れ込んで、できる限り情報として皆さんにお出ししたほうがいいかなというものをこちらのほうで選ばせていただいた上で、メール配信をさせていただきます。

(原嶋議長)

できたら要件、要素ですね。その背景になるものを何行かでも書いていただくと助かります。

11月で、次に12月からのパブリックコメントに入っていくわけですね。

今の件は確認という形でよろしいですか。

11月18日前までに今、課長さんがおっしゃったようなことの中身をメールで送ってくださるということなので。

(事務局)

こちらでまだ把握していない、パソコンのメールアドレスをお持ちの方は事務局宛てにお知らせ願えますでしょうか。

(石原生涯学習課長)

パソコンのメールアドレスを持っていらっしゃらない方はいらっしゃいますか。皆さんお持ちですか。うちから連絡をしたり、場合によっては資料をお送りしたりというようなときに使わせていただきたいと思いますけれども、それで支障があるという方はいらっしゃいませんか。大丈夫ですか。では、後で個別に伺っていない方については事務局のほうでお聞きいたしますので、よろしく願いいたします。

(原嶋議長)

では、メールをお読みいただいて、18日に皆さん御参集願えればと思っています。これの見通しがつけば、12月からタイムスケジュールでいくとパブリックコメントのほうに入れるかなということによろしいですね。

この1カ月大変ですけれども、頑張りましょう。

そういうこともひっくるめて御意見、御要望がありましたら、お願いいたします。

圧力をかけるわけではないですけれども、18日が大きな山となります。私は勉強しなければいけない。皆さんは大丈夫だと思います。頑張っていきたいと思っています。

とりあえず、カについては閉じさせていただいてよろしいですか。

どうぞ。

(古家委員)

もう一点だけつけ加えて、今、できるだけ早い段階で骨子みたいなものを事務局のほうから各委員のメールアドレスに送っていただくということで御了解いただいたのですけれども、次が11月18日。そして11月30日までに原稿を仕上げ、12月1日からパブリックコメントということを見ると、本当に1回で大丈夫なのかなという気がしないでもないのです。

それで、例えばなのですけれども、方法は2つとして、1つは、もう一回会議をふやすか。もしくは11月18日までにあと1カ月ありますので、かなり早い段階で骨子みたいなものが送られてくるのであれば、送られてきた段階でそれぞれの委員の方が御自分の御意見を事務局宛てに総括的な部分を、どんな形式でもいいので、任意で事務局のほうに返信をして、それをある程度まとめた形でもう一回、各委員の方にメールを送っていただく。いわゆるメールでの情報交換みたいな形をやっておいたほうが無難かもしれない。11月18日がより効果的に行われるかなという気がするのです。

(原嶋議長)

個人的にもそう思いますけれども、18日が大きな山となると、1回、2回キャッチボールしていく。皆さんのお考えも全委員のほうに配られていく。それで18日を迎えるという形で、今の古家委員のことでよろしいですか。

メールが配信されたら我々は読んで、御意見があればまた事務局に返して、事務局からまた全委員さんに送られるということになると思います。

(石田委員)

そうしましたら、事務局さんは大変ですが、メール配信をなるべく早くしていただいて、返信期日を切っていただいて、そしてまた私たちに返していただく。そうすれば皆さんの意見が反映されますので。

(石原生涯学習課長)

うちのほうもつくり出して、どのぐらいのペースでできるのかというところはありませんけれども、18日までに行って返って、返すができるように。

(石田委員)

大変ですよ。

(原嶋議長)

課長さん、よろしくをお願いします。

では、よろしいですか。カについてはとりあえず閉じるということでもよろしいですね。

(「はい」と声あり)

(原嶋議長)

ありがとうございました。

キ その他

(原嶋議長)

キ、その他ということではかにありますでしょうか。

よろしいですか。

どうぞ。

(佐野委員)

個人情報の問題があるのだと思いますけれども、私が仮に原嶋議長に連絡をしたいなというときに、最近、連絡先がほとんど載っていないのですが、これはどんなものなのですか。

(石原生涯学習課長)

前期もメールアドレスを全体共有すると、仕事のものとかと混雑して失礼なことにかえってなってしまうというようなことで、全体にメールアドレスを共有するということは全員の方に御同意いただけなかったのです。今期はメンバーが変わっていますので、今期中で、個人情報なので、全員が合意できないとそれは成り立たない。

(佐野委員)

メールアドレスではなくて、連絡をちょっととりたいなというときに連絡がとれる電話番号か。

(石原生涯学習課長)

皆さんの御了解が得られれば、連絡先、メールはいいですよとか、電話番号ならいいですよとか、いろいろあると思うのですけれども、皆さんに同意していただけないと、申しわけないのですけれども、私どもが勝手に誰々委員のものをお教えするわけにはいかないということだけは御了解いただきたいと思います。

(佐野委員)

時々そういう電話をして、いろいろ御意見を聞きたいなと思う場合もあるのですね。ですから、そういうことができる。

(石原生涯学習課長)

個人的なやりとりで構いませんよというのは構いませんけれども、会としてやるのは、やはり皆さんの同意がないと。

(佐野委員)

それはそうですね。

(石原生涯学習課長)

うちのほうで今度お出しするメールとかの中に、私の個人情報はここまで公開してくださいという形で御返信等をいただければ、その中で、全員がここまでは出していいというものができれば、ある人は電話、ある人はファクシミリ、ある人はメールと

いうものの名簿なりをつくって出します。それが出なかった場合はどなたかが御同意いただけなかった人がいるということで御了承いただければと思います。

(原嶋議長)

とりあえず、そういう情報を提供していただいて、後は御本人の考え方になるということになります。個人情報の提供ということで佐野さんのほうからお話がありました。

そのほかありますか。

## 2 報告事項

イ 第33期公民館運営審議会委員の委嘱について

(原嶋議長)

なければ、報告事項に移らせてください。

アにつきましては、先ほどお話がありましたので、次に行きます。

イ、第33期公民館運営審議会委員の委嘱について。これは資料がありますので、お願いします。

(前島公民館長)

資料をお配りしております。

公民館運営審議会委員名簿（第33期）ということでございます。こちらについて御報告いたします。32期の公民館運営審議会委員が本年9月8日で任期満了となり、この名簿のとおり、10名について委嘱いたしましたので、御報告いたします。

なお、委嘱状につきましては、9月17日開催の第33期公民館運営審議会の第1回審議会において教育長より交付いたしました。

委嘱までの経過等についてでございますが、各団体機関に推薦依頼をし、選考会議において10名のうち7名の委員を選出。公募委員3名については市報及びホームページで公募し、6名の応募者があり、応募者について一次選考及び二次選考を経て、会議で選出し、平成27年8月25日開催の平成27年第9回小金井市教育委員会定例会で10名の委嘱について御審議の上、御議決いただき、委嘱しております。

10名の委員につきましては、ごらんとおり、新任者が6名、再任者が4名となっております。

参考ではございますが、男女比は、男性60%、女性40%。平均年齢は63.6歳でございます。

以上、雑駁ですが、御報告とさせていただきます。

(原嶋議長)

ありがとうございました。

委嘱についての御報告です。

ウ 第13・14期小金井市図書館協議会への出向委員について

(原嶋議長)

その次にウ、第13・14期小金井市図書館協議会への出向委員についてということは、この場で選ぶわけですか。

お願いします。

(上石図書館長)

御報告させていただきます。

小金井市図書館協議会委員の任期が社会教育委員とずれておりました、まだ13期の委員さん。平成26年11月1日から平成27年10月31日まで、今月末まで、今、石田委員に出向していただいてやっけておられます。そして14期は平成27年11月1日から平成29年10月31日までになってございまして、こちらのほうの出向委員につきましては、第13期の議長のほうに御推薦いただいております、同じ石田委員を御推薦いただきまして、進めさせていただきます。

次回開催、社会教育委員の会議において名簿のほうは御提出させていただきたいと思いますが、まだ期が13期ということですので、ちょっとずれがありますので、きょうは名簿はありませんけれども、11月1日以降、委嘱してまいりますので、また御報告させていただきます。

以上です。

(原嶋議長)

ありがとうございます。

石田委員さん、ありがとうございます。

よろしく願いいたします。

エ その他

(原嶋議長)

では、その他に入ります。

どうぞ。

(事務局)

まず1点、開催通知のときに同封しました承諾書と口座振替依頼書をお持ちの方は後で事務局のほうまで御提出をお願いいたします。

(原嶋議長)

あと事務局のほうからありますか。

(石原生涯学習課長)

以上です。

(原嶋議長)

その他、報告事項はありますか。

時間は早くてもいいのですか。

(西田生涯学習部長)

一応11時を目安に。

(原嶋議長)

そうですか。

(石原生涯学習課長)

あと事務局から正副議長へのお願いなのですが、正副議長については、本会議のときには前期のときには開会の15分前に7階の生涯学習課のほうにお越しただいて、全体の資料のお目通しと議長と副議長の進行の打ち合わせなどをさせていただいておりますので、今期の議長、副議長におかれましても、お二人で調整の上、それでよろしければ従前のおりをお願いしたいと思います。

(原嶋議長)

ほかにありますか。

小山田さんはいいのですか。

(小山田委員)

議案ではないですけれども、この中に入っているチラシですけれども、子どもと一緒に楽しもうということで、委託を受けてやっております。3市連携なのですが、ことしももう間もなく始まりますので、柴田先生にも1講義いただいております。今年度、白梅の先生にも来ていただくお願いをして、よろしければ、講座のほうもぜひ御参加いただければと思います。よろしく願いいたします。

(石原生涯学習課長)

前期委員をやっていた倉持先生にも。

(小山田委員)

そうです。前期委員の倉持先生にも御講義いただきます。

(原嶋議長)

私も1分ください。チラシのメンタルトレーニングなのですが、体育協会というのは用意ドンとかアスリートだけではないのです。いろいろ研修もあります。これは保護者向けに今、配っていただいております。この写真の方・講師は、プロゴルファーの方の旦那さんの友達。有名な方なのですが、結構楽しくやっておりますので、去年も集まったのですが、とても参考になったなどという評価も出ています。本年も実施します。よろしければ来ていただければと思います。

ほかにありますか。

私のほうで、社教情報。これはコンパクトでいいなと思うのですが、私は社会教育のことについては全然詳しくないし。これなどは横になって見られるような形で、社会教育とは何ということから始まる方は、結構これはお読みになるにはいいかもしれません。短い文字数でわかりやすいかなと思います。

なければ、よろしいですか。

では、つたない司会で済みません。

本日は終わります。ありがとうございました。

以上